

第4学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『ごみはどこへ』

(教科書：『小学社会 3・4 下』 p. 42～59／学習指導要領：内容（3）ア，イ）

2. 小単元の目標

ごみの処理に関わる対策や事業について，見学したり，資料を活用したりして調べ，計画的，協力的に行われていることを捉えるとともに，地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考える。また，自らもごみの適切な処理や再利用などに協力しようとする。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
<p>地域の人々の生活にとって必要なごみの処理の諸活動に関心をもち，それを意欲的に調べようとしている。</p> <p>地域社会の一員として，ごみの減量，資源の再利用などの取り組みに協力しようとしている。</p>	<p>ごみ処理に関わる対策や事業について，学習問題や予想，学習計画を考え表現している。</p> <p>ごみ処理に関わる対策や事業が，地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを自分たちの生活と関連づけて考え，適切に表現している。</p>	<p>地域の人々の生活にとって必要なごみの処理の諸活動についての的確に見学，調査したり具体的な資料を活用したりして，必要な情報を集め，読み取ったりまとめたりしている。</p>	<p>ごみの処理に関わる対策や事業は，地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p>

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

本学級の児童の多くは，分別の仕方や，ごみの出し方の概要を知っている。しかし，集められたごみを誰がどのようにして，また，どのような工夫や努力をしてごみの処理が行われているのかなどに興味・関心をもつまでには至っていない児童もいる。さらに，ごみを分別して，再利用できるものはリサイクルに出し，ごみの減量化・資源化に取り組もうという意欲は十分とは言えない。

観察・資料活用の技能については，数や量に着目して地域における社会的事象を見たり調べたりできる力がかなりついてきている。また，問題解決に必要な情報を選択しながら観察，調査することもできつつある。社会的な思考・判断・表現の能力については，地域社会の社会的事象の特色を考え，表現する力がついてきている。しかしながら，願いを実現していく地域社会の人々の工夫や努力などに着目して社会的事象の相互の関連を考え，その価値を判断し，表現する力は十分に高まっていない。

(2) 教材について

本小單元では、廃棄物の処理として、「ごみの処理」を取り上げる。福岡県北九州市では、市がごみ収集のきまりを定め、分別収集や有料収集を実施している。また、これまでに企業や市民一人一人による3R活動などを推進して、計画的・協力的に家庭ごみの排出量の削減を実現してきた。これら一連のごみ処理の対策や事業について調べる学習は、計画的・協力的なごみ処理の対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えることができる教材である。

また、一方では、家庭ごみの中にはまだまだ資源化できるものが含まれている現状がある。市も最終処分場の残容量の問題から、さらなる家庭ごみの減量化・資源化を目標としている。計画的・協力的に廃棄物を資源として活用していることについて、自分たちの生活と関連づけて取り上げることは、地域の環境保全に対する意識を高め、自らも適切な処理や再利用などに協力しようとする態度を育てるとともに、よりよい社会のあり方を考える態度を育成するうえで意義があることだと考える。

(3) 指導上の工夫・留意点

本小單元では、具体的な見学活動を通して、自分にもできることを考えさせていく。「つかむ」段階では、ごみのゆくえについて関心を高めるために、各家庭から出るごみの種類や量を具体的に調査する活動や、それらのごみのゆくえを予想する活動を取り入れる。

「調べる」段階では、ごみが計画的に処理されていることや、ごみ処理の仕方や携わっている人々の工夫や努力を具体的に調べることができるように、ごみステーションや清掃工場、リサイクルセンターの見学や、ごみ処理に携わる人へのインタビューを行うようにする。

「考え表現する」段階では、市や市民、企業の計画的・協力的な取り組みによって、ごみの量が減ってきていることを捉えることができるように、北九州市の家庭ごみの減量化・資源化に向けた取り組みとごみの量の推移を示すグラフを関連づけて考えさせる。また、環境局の方の話をもとに、家庭ごみ袋を提示し、ごみの量を減らす作業体験をもとにして、家庭ごみを一人一日当たり35g減らすためのアイデアについて話し合う活動を設定する。さらに、ごみを分別したり、資源化したりするためのルールを守ることの大切さを考えることができるように、そのアイデアは新しいものか、実際にできるのか、考える活動を取り入れる。

「生かす」段階では、地域社会の一員として、ごみの減量、資源の再利用などの取り組みに協力しようとする意欲を高めるために、「くらしの見直しを呼びかける言葉」を考えて交流する活動を行うようにする。

5. 小単元の指導計画（総時数 10 時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① (つかむ)	自分たちの生活から出るごみの処理の仕方に関心をもち、調べる意欲をもつ。	家庭から、毎日どんなごみを、どれくらい出しているのだろう。どのようにして、ごみを出しているのだろう。	◎各家庭のごみの種類や量の調査結果 ◇各家庭のごみの詳しい中身については、掘り下げないように配慮する。

		<p>○家庭の中から、毎日どれくらいの量のごみが出ているのか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ、プラスチック製の容器包装、かん、びん、紙など、いろいろな種類がある。 ・1週間に3袋、ごみを出していた。 <p>○分別のきまりなど、ごみの出し方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃えるごみは、青い袋に入れて、決まった日にごみステーションに出す。 ・ごみの種類によって、ごみを出す曜日がちがう。 	<p>◆家庭から出されるごみの種類や量の多さに関心を持ち、意欲的に話し合っている。</p> <p>(関・意・態/発言)</p>
② (つかむ)	<p>ごみ処理の仕方について、学習問題や予想、学習計画を考え、表現する。</p>	<p>○ごみのゆくえについて話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>わたしたちのくらしから出たごみは、どのようにして集められ、処理されるのだろう。</p> </div> <p>〈学習問題に対する予想〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみは、埋め立て地に運ばれる。 ・ごみは、どこかでリサイクルされる。 <p>〈学習計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみステーションでごみを収集している人に、どこに行くのか聞いてみる。 ・ごみを処理しているところに行ってみる。 	<p>◎北九州市内の一日当たりのごみの量</p> <p>◎一日に一人当たりが出すごみの量の変化を示すグラフ</p> <p>◇ごみの量について学級全体、学校全体など規模を大きくしながら考えていき、市全体から出される大量のごみの始末について予想させるようにする。</p> <p>◆自分たちが出したごみが、どこで、どのようにして処理されているのかについて、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。</p> <p>(思・判・表/発言, ノート)</p>
③ (調べる)	<p>ごみステーションを見学し、ごみの集め方や集めるときの工夫を調べる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ごみステーションでは、どのようにしてごみを集めているのだろうか。</p> </div> <p>○ごみステーションを見学し、ごみの量や出し方、収集の仕方、収集後の行き先について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみは、清掃工場やリサイクル工場に運ばれる。 <p>○ごみを収集するときの工夫を話し合う。</p>	<p>◎ごみステーションやごみ収集車の見学</p> <p>◎環境局の方の話</p> <p>◇ごみ収集車やごみ収集をしている人の様子から、計画的な収集の工夫や、安全・衛生を守るための工夫に気づけるようにする。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・収集するときは、安全や衛生に気をつけている。 ・ごみの収集漏れがないように、収集日や収集ルートを決めている。 	<p>◆市が計画的にごみを収集していることを、資料を活用して、具体的に調べている。 (技／発言，ノート)</p>
④ ⑤ (調べる)	清掃工場やリサイクルセンターを見学し、ごみ処理の様子や工夫を調べる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>家庭ごみや資源ごみは、どのようにして処理されているのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○清掃工場を見学したり、かん、びん、ペットボトルなどの資源ごみが、どのように処理され、どのようにリサイクルされているのか資料を使って調べたりして、ごみ処理の様子や工夫を調べる。 ・家庭ごみは、清掃工場で燃やして、灰にして、最終処分場に運ばれる。 ・かん・びん・ペットボトルは、リサイクルセンターで原料にして、新たな製品になる。 ・ごみを処理したり、処理するための施設をつくったりするには、多くの費用がかかる。 ○調べたことをノートにまとめる。 	<p>◎清掃工場やリサイクルセンターの見学</p> <p>◎清掃工場やリサイクルセンターのパンフレットやウェブサイト</p> <p>◇事前に見学の計画を立てるようにする。</p> <p>◇見学の際は、ごみの処理の仕方や廃棄物の資源化、働く人々の努力や工夫、環境の保全の取り組みに着目させるようにする。</p> <p>◆ごみ処理の仕方や携わっている人々の努力や工夫などについて、見学したり、資料を活用したりして、具体的に調べている。 (技／行動観察，ノート，見学メモ)</p>
⑥ (調べる)	これまで調べたことをまとめ、市のごみ処理の対策や事業は、計画的・協力的に進められていることを理解する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>北九州市のごみの集め方や処理の仕方についてわかったことを出し合おう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでに調べたごみの収集の仕方と処理の仕方について、わかったことを簡単な図などでまとめる。 ・ごみは、安全や衛生に気をつけて集められ、処理されている。 ・集められた家庭ごみは、清掃工場で燃やして、灰にして埋め立てる。 ・リサイクルできるものは、工場で資源に変えられて、再び製品になる。 ・清掃工場でも、安全や衛生、環境に気をつけてごみを処理している。 	<p>◎学習の足跡をまとめた掲示物，ノート，パンフレット</p> <p>◆市のごみ処理に関わる対策や事業は計画的に進められ、市民の健康な暮らしの維持に役立っていることを理解している。 (知・理／ノート)</p>

<p>⑦ (考え表現する)</p>	<p>市が行ってきたさまざまな対策や事業によって、ごみの量が減ってきたことを考え表現する。</p>	<p>○一日のごみの量の変化を示すグラフを見て、わかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの量は、一度は増えたが、近年また減ってきている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうして、北九州市のごみの量は減ってきたのだろうか。</p> </div> <p>○北九州市のごみの量や処理費用の推移と、ごみを減らすための取り組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定袋を導入したあと、家庭ごみの量は大きく減っている。 ・プラスチック容器包装のリサイクルを始めたときも、ごみの量は減った。 ・指定袋導入以外にも、ごみの量を減らす方法がありそうだ。 	<p>◎北九州市の一人当たりが出す一日のごみの量の変化を示すグラフ</p> <p>◎北九州市のごみ処理事業の年表</p> <p>◇北九州市のごみ処理量や費用が減少してきた理由について、分別収集や指定袋制度の導入などに関連づけて考えさせるようにする。</p> <p>◆ごみの量が減った理由を市の施策と結びつけて考え、表現している。 (思・判・表/発言, ノート)</p>
<p>⑧ (考え表現する)</p>	<p>市や市民、企業が協力して行っているさまざまな対策や事業によって、ごみの量が減ってきたことを考え表現する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>市の取り組み以外に、どのようにしてごみの量を減らしてきたのだろう。</p> </div> <p>○ごみの減量化の取り組みを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットで資源の回収をしている。 ・回収された牛乳パックで、トイレトーパーペーパーをつくっている企業がある。 ・家庭では、生ごみを堆肥に変えている。 ・市だけでなく、市民や企業も協力してごみを減らしたり、資源にしようとしていたりしている。 	<p>◎スーパーマーケットの資源回収ボックスの写真</p> <p>◎リサイクル製品</p> <p>◆ごみの量が減ってきた理由を市の施策や市民、企業の取り組みと結びつけて考え、表現している。 (思・判・表/発言, ノート)</p>
<p>⑨ (考え表現する) 【本時】</p>	<p>市が目ざしている「家庭ごみ一日一人当たり 35g削減」を達成するためには、ごみを分別したり、資源にしたりするルールを守ることが大切であることを具体的に考え表現する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>目標の家庭ごみ 35g を減らすために、どうすればよいのだろう。</p> </div> <p>○ごみの分別作業を実際に行ったり、環境局の方の話を聞いたりして、ごみを減らす方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭ごみの中には、まだリサイクルできるものが入っている。 ・きまりを守って、ごみを出すことが大切だ。 	<p>◎北九州市の家庭ごみ組成率に合わせてごみを入れた袋</p> <p>◇環境局の方に、市のごみ処理の現状と課題について話してもらおうよう依頼する。</p> <p>◆ごみを分別したり、資源化したたりするルールを守ることの大切さを具体的に考え、表現している。 (思・判・表/発言, ノート)</p>

<p>⑩ (生かす)</p>	<p>ごみの処理や再利用には、多くの人の工夫や努力、市の計画的な取り組みがあることを理解し、自分にできることを考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ごみの減量を呼びかける言葉を考えよう。</p> </div> <p>○今までの学習をふり返り、ごみの処理に携わる北九州市の人々の工夫について、簡単な図に書いてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみは、安全・衛生に気をつけて集められ、処理されている。 ・市と市民と企業が一体となって、ごみの減量化・資源化に取り組んでいる。 <p>○ごみの減量化について、「くらしの見直しを呼びかける言葉」を考えて交流を行い、学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(例)「ちょっとした手間をかければ全部資源」…たくさんの人がひと手間かければ、資源化工場でまた資源になる。みんなに、資源化に協力してほしい。 	<p>◎学習の足跡をまとめた掲示物、ノート、パンフレット</p> <p>◆市のごみ処理に関わる対策や事業は計画的に進められ、市民の健康な暮らしの維持に役立っていることを理解している。 (知・理／行動観察、ノート)</p> <p>◇呼びかける言葉だけでなく、その言葉を考えた理由も発表させるようにする。</p> <p>◆ごみの減量化や再利用に協力しようとしている。 (関・意・態／発言、行動観察)</p>
--------------------	---	---	---

6. 本時の指導（第9時）

(1) 本時のねらい

家庭ごみを 35g 減らすためのアイデアについて、家庭ごみの分別体験をもとにして話し合い、そのアイデアは新しい取り組みなのか、実際にできるのかを考える活動を通して、ごみを分別したり、資源化したりすることの大切さを具体的に考えることができるようにする。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
10	<p>○これまでの学習をふり返り、ゲストティーチャーの話をもとに、本時のめあてをつかむ。</p> <p>T：今までの学習をふり返ってみましょう。</p> <p>C：北九州市では、指定袋を導入して分別収集したり、企業や市民も協力したりして、ごみを削減・再利用していました。</p> <p>C：年々ごみは減ってきました。もう十分ごみを減らすことができましたと思います。</p> <p>T：本当にそうでしょうか。環境局の方にお話を聞いてみましょう。</p>	<p>◎学習の足跡をまとめた掲示物、ノート、パンフレット</p>

	<p>ゲスト（以下、G）：みんなのがんばりにより、ごみは減ってきました。しかし、ごみの処理には、お金がかかります。さらに、今のままでは、最終処分場も平成32年にはいっぱいになります。北九州市では、「もっとごみを減らそう。」と一人一日当たりのごみの量を現在からさらに35g減らすことを目指しています。</p> <p>C：このままいくと7年後には、今の最終処分場が使えなくなるのかと思うと、心配になります。</p> <p>C：少しでも費用を抑え、処分場を長く使うには、ごみを減らすことが必要だと思います。</p> <p>C：なんとかして、35g減らす方法をみんなで考えたいです。</p> <p>めあて：目標の家庭ごみ35gを減らすために、どうすればよいのだろう。</p>	<p>◇本時のめあてを明確にもつことができるように、環境局の方から、現在使われている最終処分場が平成32年には使えなくなることや、家庭ごみの出し方にまだ課題があり、今後7年で一人一日当たり35gの家庭ごみの削減が目標であることを聞く活動を設定する。</p>
30	<p>○ごみを35g減らすためのアイデアについて、ごみの分別体験をもとにして話し合う。</p> <p>T：家庭ごみの中身をグラフで見て、ごみを35g減らすためのアイデアのヒントになりそうなものはありますか。</p> <p>C：生ごみと紙類が多いことは、問題だと思います。</p> <p>C：プラスチック類はリサイクルできるのに、家庭ごみに入っているのを見たことがあります。</p> <p>T：ここに一日分のごみが入った袋があります。これを開けて実際に中身を取り出しながら、グループで相談して、35g減らすためのアイデアを考えましょう。</p> <p>C：ペットボトルの包装やお菓子の包みが入っています。これは、リサイクルしたらよいと思います。</p> <p>C：靴下は、まだはけると思います。</p> <p>C：生ごみは重いです。水分を減らしていきたいです。</p> <p>C：生ごみは肥料にできると聞いたことがあります。</p> <p>C：鍋のふたやスプーンなどの金属は、スーパーマーケットの回収箱に入れた方がいいと思います。</p> <p>C：家庭ごみの指定袋に入れない方がいいものが、たくさん入っていました。</p> <p>T：グループで考えた、ごみを35g減らすためのアイデアを発表してください。</p> <p>C：牛乳パックや食品トレイは、リサイクルボックスに入</p>	<p>◎北九州市の家庭ごみの組成率を示したグラフ</p> <p>◇グラフから家庭ごみの中身に注目させ、ごみ削減の具体的なアイデアを考えるヒントとする。</p> <p>◎家庭ごみ袋のモデル（実際の組成率に合わせたもの）</p> <p>◎北九州市のごみの出し方を示したパンフレット</p> <p>◇ごみを35g減らすためのアイデアを具体的に考えることができるように、家庭ごみ袋の中に資源にできるプラスチック容器包装や古紙、古着などが混在しているものを、手に取って見たり、分別したりする活動を設定する。</p> <p>◇グループ活動中は、環境局の方にもアドバイスをしてもらおう。</p>

	<p>れるといいと思います。</p> <p>C：まだ着ることができる古着は，誰かにあげるとよいと思います。</p> <p>C：生ごみは，水分をもっと切った方がいいと思いました。</p> <p>C：リサイクルマークのついた包装紙が入っていました。資源ごみの指定袋に入れて出すといいと思います。</p> <p>○グループで出したアイデアは，新しい取り組みなのか，実際にできるのかを考える。</p> <p>T：さすが，みんなはごみを減らしてきた北九州市民ですね。こんなアイデアがあるなんて，他の人は気づいていないでしょうね。</p> <p>C：みんな知っていると思います。もうアイデアを実行している人もいると思います。</p> <p>T：しかし，実際はできていないこともありますよね。</p> <p>C：知っているけど，めんどくさい，忙しいというのを理由にして，やっていないと思います。ちょっとくらい，自分だけなら大丈夫と思っているのではないのでしょうか。</p> <p>C：今までのごみを出すきまりをきちんと守ればよいと思います。北九州市のごみ処理のルールを市民が守れるかどうか，35g減らすための鍵になると思います。</p> <p>G：みんなが言ってくれたことを実行すれば，ごみは減らせます。ちょっとした手間が，リサイクル率を100%にします。ぜひ，おうちの人にも伝えてください。</p>	<p>◇ごみ分別のルールを守る大切さを考えることができるように，分別体験をもとに話し合ったアイデアは，新しい取り組みなのか，すでに行われているものなのか，揺さぶりをかける発問や問い直しをする。</p> <p>◆ごみを分別したり，資源化したりするルールを守ることの大切さを具体的に考え，表現している。 (思・判・表／発言，ノート)</p> <p>◇子どもが問題解決の達成感を味わうことができるように，環境局の方から価値づけをもらう。</p>
5	<p>○本時の学習をふり返る。</p> <p>T：今日の学習のまとめをします。みなさんは，ごみを減らすためにどんなことができそうですか。</p> <p>C：ごみとして出されているものを見ると，袋の中にはまだまだ資源になるものがたくさんありました。だから，捨てる前にリサイクルできるものがないか確かめます。</p> <p>C：まずは，決められた分別をしっかりと守りたいです。</p> <p>C：「めんどくさな。」と思わずに，リサイクルボックスにリサイクルできるものを持っていくようにしたいです。</p> <p>C：環境局の方から聞いたことを家族にも伝えて，家族みんなで行き届くようにしたいです。</p>	<p>◇本時の学習を具体的にふり返ることができるように，数名の児童を意図的に指名する。その際，自分が考えたことをめあてと結びつけて，具体的にふり返ることができるように指導・助言する。</p>